

被災者の救援に あらゆる手だてを

震災・原発事故の被災者救援に全力をつくすときです

いま緊急に求められているのは、命の危険にさらされている方々、行方不明の人々の救助と捜索をおこなうこと、生活物資の確保に全力をあげることです。

県内でも大きな影響

県内でも「計画停電」による鉄道運休、市民生活では日用品・食料品・ガソリン不足など、多大な困難が生まれています。平和ですみよい神奈川県政をつくる会は、被災者の救援とあわせ、県民の命とくらしを守るため全力をつくします。

原発事故には、正確な情報提供と

不安解消のあらゆる対策を

大震災で大きな被害をうけた東京電力福島原子力発電所は、炉心溶融、建屋の爆発、火災などにより、放射性物質が流出しました。この事故で周辺住民が被ばく、避難命令がだされるなど、被害の拡大と今までにない重大事故に対し、国民の不安が増しています。

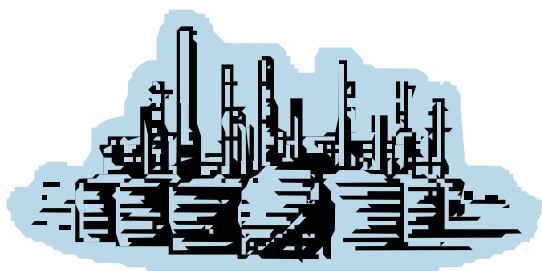
政府は、原子力安全委員会など独立した専門機関を総結集し、国民の不安に応え、安全対策、正確な情報提供と説明責任を果たすべきです。

大震災の被災者支援、復興に 全国民の総意を結集します

- ①被災者と被災地の救援に必要な、医療・土木などの物資と人員の派遣を、市町村と連携してすすめます。
- ②被災者の住居確保のため、県営住宅や公営住宅の空き室を確保します。
- ③原発事故避難民の一時受け入れのため、公共施設の確保を市町村と連携してすすめます。

県民の生命財産をまもるため、防災体制を確立します

- ①学校・福祉施設など公共施設の耐震強化、急傾斜地域の崩壊対策、ライフラインの確保に必要な点検・補強工事を優先してすすめます。
- ②避難場所と防災備蓄の確保を再点検し、動力用燃料の確保体制を構築します。
- ③原子力施設や石油コンビナートなどの、地震対策の点検と見直しを求めるとともに、地域の防災計画に反映します。



かもい洋子の提案